

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【双葉消防本部立入検査における指摘について】 2022年3月15日、16日に双葉消防本部の立入検査が行われ、以下の指摘を受けた。 ・予防規程について最新の内容に見直しをすること(消防法第14条の2第1項)。 今後、予防規程について最新の内容に見直しを行い、「予防規程変更認可申請書」を提出予定。	G II	4月7日
2	【雑固体廃棄物焼却設備(A)の耐火材剥離について】 当社社員が地震後の雑固体廃棄物焼却設備(A)の機器動作確認時、焼却炉内の耐火材が剥離していることを確認。 原因は、3月16日に発生地震による影響と推定。 今後、当該耐火材の交換または補修の実施、他の耐火材設置箇所についても確認を行い、補修を実施。	G III	3月25日
3	【FタンクエリアのH6、I2、I7、J3、J4、J6タンクのフランジ接合部からの水の漏えいについて】 当社社員が地震後のFタンクエリアの点検において、H6、I2、I7、J3、J4、J6タンク本体のフランジ接合部から、2秒から13秒に1滴程度の水の滴下を確認。 滴下箇所に養生シートおよび受けを設置し、1日4回のパトロールで滴下状況を確認。 原因は、3月16日に発生地震による影響と推定。 今後、止水処置を実施予定。	G III	3月17日
4	【FタンクエリアのI2、I3、J3、J4、J6タンクのフランジ接合部からの水の漏えいについて】 福島県職員がFタンクエリアのJ3、J4、J6タンク本体のフランジ接合部からにじみおよび10秒から120秒に1滴程度の水の滴下を確認。 その後、当社社員によりI2、I3タンクについても10秒から30秒に1滴程度の水の滴下を確認したが、J6タンクについては滴下が認められなかった。 滴下箇所に養生シートおよび受けを設置し、1日4回のパトロールで滴下状況を確認。 今後、止水処置、原因調査を実施予定。	G III	4月11日
5	【増設雑固体廃棄物焼却設備廃油供給ラインのフレキシブルホースからの油のにじみについて】 当社社員が増設雑固体廃棄物焼却設備廃油供給ラインのフレキシブルホース下流側のフランジ付近に、油のにじみを確認。 下流側フランジに油の受けを設置。 調査の結果、上流側のフランジのガスケット未装着を確認。 上流側フランジから漏れた油が下流側フランジに至ったものと推定。 当該部へガスケットを取付し、他系統についても、ガスケット未装着がないか点検を行う。 今後、再発防止対策を検討。	G III	4月12日
6	【FタンクエリアのJ2タンクフランジ接合部からの水の漏えいについて】 当社社員がFタンクエリアのJ2タンク本体のフランジ接合部から水の滴下を確認。 滴下箇所に養生シートおよび受けを設置済み。 今後、止水処置、原因調査を実施予定。	G III	4月13日
7	【雑固体廃棄物焼却設備(B)焼却炉バーナーユニット(B)の軽油供給圧力減圧弁ガイドプラグの不具合について】 当直員が雑固体廃棄物焼却設備(B)焼却炉バーナーユニット(B)の軽油供給圧力減圧弁のガイドプラグ(※)が、空回りして外れないことを確認。 当該減圧弁は取り外し、閉止フランジを取り付け済み。 当該減圧弁を分解しガイドプラグを確認した結果、雑固体廃棄物焼却設備(A)と同様に、ガイドプラグのねじ山が欠損していることを確認。 雑固体廃棄物焼却設備(B)は現在運転停止中。 今後、ねじ山欠損の調査、分析を行い原因特定を実施する。 ※ガイドプラグ: 弁棒が所定の位置で動くようにする部品	G III	4月13日
8	【サイトバンカ建屋天井クレーンの走行動作不良について】 協力企業作業員が地震後のクレーンの点検の際、走行操作実施中にクレーンが停止したことを確認。 クレーン停止により、第三セシウム吸着装置の吸着塔交換は不可となるが、吸着塔交換時期まで(2ヶ月で交換)は運転できる。 また、第二セシウム吸着装置で汚染水処理が可能であり問題なし。 今後、動作不良の原因を調査し修理を行う。	G III	4月13日